

株式会社カイノスの株式取得に向けた投資スキームへの日本政策投資銀行の参画について ～ 体外診断薬分野におけるアライアンス強化を通じたヘルスケア事業の成長加速 ～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石田郁雄、以下「当社」）は、株式会社カイノス（本社：東京都文京区、代表取締役社長：長津行宏、以下「カイノス」）の株式取得を目的として設立した Flowers 株式会社（以下「Flowers」）を通じた投資スキームに関し、株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：地下誠二、以下「DBJ」）より優先株式引受による出資を受けたことをお知らせいたします。

カイノスは、1975年の創業以来、体外診断薬（IVD）分野において、医療現場のニーズに基づいた独創的な製品開発を行い、高い評価を得てきたメーカーです。

当社は、経営計画「Mission 2030」においてヘルスケア領域を最重点分野の一つと位置づけており、体外診断薬分野については、自社の研究開発力、グローバルネットワーク等を活かしながら、外部とのアライアンスを通じた事業基盤の強化・拡大を進めております。本件は、その戦略の一環として位置づけられるものです。

本件を通じて、当社とカイノスは、研究開発、製品ラインアップの拡充、海外市場での展開等において連携を深化させ、両社の競争力向上を図ってまいります。加えて、国内 IVD 業界における技術力を有する企業同士の協業を推進することで、国際競争力の強化にも貢献していくことを目指します。

なお、本投資スキームに対する DBJ の参画は、本取り組みがデンカ及びカイノス両社の競争力強化に加え、国内における IVD の供給力強化にも資すると評価されたことから、「特定投資業務（注1）」の一環である「DBJ サプライチェーン強靱化・インフラ高度化ファンド（注2）」を活用し実行されたものです。

今後もデンカは、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学技術を通じて、人々の暮らしと社会に貢献してまいります。

（注1）民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務です。

（注2）「特定投資業務」において、重要物資の安定供給確保等のサプライチェーン強靱化やデジタル技術の活用による物流をはじめとするインフラの強靱化・高度化を推進するため設置した重点投資分野です。

以上

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511